

## 18 主権者教育の推進と投票しやすい環境の一層の整備

[1]民主主義の担い手である若年層をはじめとした有権者に対する主権者教育の推進／[2]投票しやすい環境の一層の整備

### (1) 民主主義の担い手である若年層をはじめとした有権者に対する主権者教育の推進

- ・国民が積極的に投票参加されるよう、政治や選挙に関する国民の意識の醸成、向上を図る観点から、若年層をはじめとした有権者に対する主権者教育を継続的に推進。

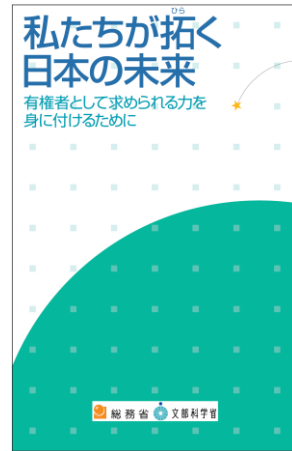
#### (a) 政治や選挙に関する教育の充実

- ・高校生向け副教材の作成・配布（令和3年度は1学年分（約112万部）を作成・配布）
- ・選挙管理委員会等が実施する出前授業や主権者教育に関する長期的計画の策定などを支援

#### (b) 参加・体験型学習の促進

- ・地域で開催する参加・体験型学習のイベント（オンライン形式を含む）の実施を支援

【予算】参加・実践等を通じた政治意識向上に要する経費 1.5億円（3年度 1.2億円）



### (2) 投票しやすい環境の一層の整備

- ・在外選挙インターネット投票をできるだけ早期に導入できるように、検討を進めていく。

マイナンバーカードを活用した厳格な本人確認や投票の改ざん防止など、高いセキュリティ水準を備えたシステム構築に向けて検討していく。

（令和3年度は、在外選挙インターネット投票の制度面について検討を行うとともに、システムに必要な機能等、在外選挙インターネット投票システムの主要な要件の検討等を行う。）

※選挙の執行に万全を期し、万一にも選挙無効につながることはないよう、十分な準備が必要

- ・その他選挙人の投票環境の向上を図る観点から所要の検討を実施。

【予算】在外選挙人の投票環境の向上に必要な経費 0.5億円（3年度 0.5億円）